

# 平成28年度 循環型社会に貢献できる産業人材育成事業に関するアンケート結果

宮城県古川工業高等学校 建築科

## ■調査概要

対象：建築科3年生39名（男子16名・女子23名）  
 調査日：平成29年2月9日（木）質問用紙による選択および自由記述回答

## ■学習の理解・定着について

【数字は%】

		はい	いいえ
1	産業廃棄物の3R、発生抑制・再使用・再生利用（リデュース・リユース・リサイクル）について理解できた。	100.0	0.0
2	解体された木材（廃材）を活用して、次の木工製品を作り出す工程が理解できた。	100.0	0.0
3	建築科の学習を通し、ものづくりの楽しさを学ぶことができた。	100.0	0.0

## ■持続可能な循環型社会を築くため、また将来世代に豊かな環境を残していくために、あなたが実践している行動について

		はい	いいえ
4	買い物に行くときは、マイバックを持参し、不要なレジ袋をもらわないようにしている。	82.0	18.0
5	照明、テレビ、パソコンなどの使用していない機器の電源をこまめに切るようにしている。	82.0	18.0
6	冷暖房を控え、衣服で調節し、冷暖房器具の使用時間を短くしています。（冷房の設定温度は28℃、暖房の設定温度は20℃）	59.0	41.0
7	水道やシャワーの蛇口をこまめに止め、節水している。	92.0	8.0
8	電気製品や家具は、壊れても修理して使えないかを、まず考えて安易に買い替えをしない。	82.0	18.0
9	ゴミは種類ごとにきちんと分別し、市町村のリサイクルに協力している。	95.0	5.0
10	家族や友人と、学校や地域でできる環境保全の実践活動について、考えている。	59.0	41.0

## ■本事業における感想（自由記述）

- ・廃材を活用して物が作れるということが理解できた。（男子）
- ・ものづくりは、廃材を利用してでもできる素晴らしさを学んだ。少しボロボロでも加工しだいで、キレイにすることができ、捨てられてしまうのはもったいないと感じた。（女子）
- ・ものづくりの奥深さを感じる事ができた。（男子）
- ・物を作る楽しさを学ぶことができた。高校卒業後も続けて行きたい。（男子）
- ・普通高校では、学べないたくさんの事を学べて古川工業に入学して良かった。（女子）
- ・建築学はもちろん、人として成長することができたと実感している。（男子）
- ・ものづくりの楽しさを学ぶとともに、リサイクル活動に貢献できて良かった。（女子）
- ・建築についての専門教科をより深く学習することができた。（女子）
- ・木材加工の楽しさを学ぶことができた。（男子）
- ・見学だけではなく、実技が多かったので自分の身になった。（男子）
- ・とても貴重な体験ができた。資源を大切にしていきたいと思う。（男子）
- ・いろいろな実習を通し、ものづくりの楽しさとやりがいを学ぶことができた。古川工業建築科で良かった。（男子）
- ・建築科で学習することは、思った以上にジャンルがたくさんあって驚いた。（女子）
- ・建築科に入学しものづくりの楽しさを学ぶことができた。これからも地球に優しいものづくりを通して、環境保全に努めて行きたいと思う。（女子）
- ・学習を通し、外部の方々との交流やものづくりの素晴らしさ、完成したときの喜びややりがいが実感できた。（女子）
- ・実習や見学が多く楽しく学ぶことができた。建築は幅が広く、ものすごく興味がわいた。（女子）